



EVITA

TREATMENT HAIR COLOR

エビータ トリートメントヘアカラー 濃厚クリーム(白髪用) 早染めタイプ

注意! 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。

- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

1箱でショートヘア1回分が目安です。

- 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方
- パッチテストの結果、異常があった方

下記までご相談ください。



株式会社カネボウ化粧品
商品に関するお問合せや美容相談は
☎0120-518-520

ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪の生え際・顔・首筋などに、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツなどの症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかずに、またはかぶれの症状が軽いため使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重篤なアレルギー反応(全身じんま疹、呼吸困難など)等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

1 使用上の注意 (ご使用前に必ず最後までお読みください。)

1. 次の方は使用しないでください。

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

2. 使用前のご注意

- ① 染毛の2日前(48時間前)には右記の順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、ヘアカラーにかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト剤塗布後30分および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ② 頭皮以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前後1週間はパーマネントウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

3. 使用時のご注意

- ① 薬剤は使用直前に混合し、直ちに使用してください。
- ② 換気のよいところで使用してください。
- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗や皮脂等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。
- ⑥ 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらずに、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4. 取り扱い上のご注意

- ① 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。

5. 保管上のご注意

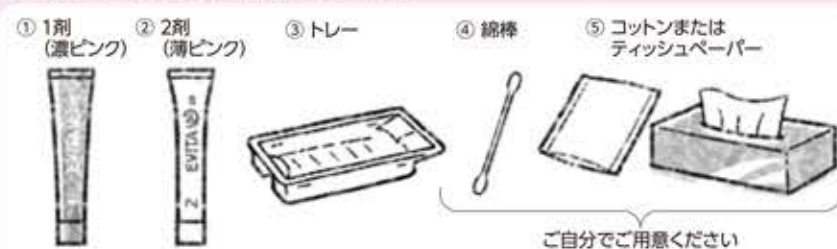
- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光をさけて保管してください。

* 幼児には使用しないでください。
* 認知症の方などの誤食を防ぐため、置き場所にご注意ください。
* 肌に異常が生じていないかよく注意して使用してください。肌に合わない時、使用中に赤み、はれ、かゆみ、刺激、色抜け(白斑等)や黒ずみ等の異常が出た時、直射日光があたって同様の異常が出た時は使用を中止し、皮膚科医へ相談してください。使い続けると症状が悪化することがあります。

2 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

パッチテストは、ヘアカラーにかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化などにより突然かぶれる場合もありますので、毎回必ず、染毛の48時間前にパッチテストを行ってください。

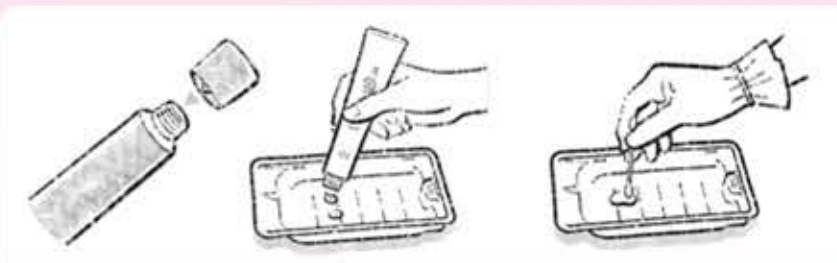
1. 次のものを準備します。



ご自分で用意ください

2. パッチテスト用の混合クリームをつくります。

- 1剤のキャップをはずし、キャップ頭部の突起で1剤チューブの口に穴をあけます(十分にねじ込んでください)。軽く押しながら、あずきつぶ大の量をトレー上に出します。
- 次に、2剤チューブを軽く押しながら同量出します。
- 綿棒で混ぜ合わせます。



3. 腕の内側に塗って、48時間放置します。

- 混合クリームができたら、綿棒の先端につけ、腕の内側に10円硬貨大にうすく塗り、自然に乾燥させてください。
- そのまま触れずに48時間放置します(時間を必ず守ってください)。混合クリームを塗ったところは絆創膏等で覆わないでください。
- ★ 塗った部分は茶色などに着色しますが、パッチテスト終了後、通常の入浴により数日程度で落ちていきます。
- ★ 混合クリームが乾燥するまで、衣服につかないようにご注意ください。
- ★ 塗った部分が30分位しても乾かない場合は、ティッシュペーパーなどで軽くふき取ってください。
- ★ 正確な結果を得るために、48時間は、テスト部位をぬらしたり、こすったり、絆創膏等で覆ったりしないでください。入浴やシャワーは、なるべくひかえてください。やむをえない場合は、テスト部位をぬらさないようにご注意ください。



4. テスト部位の観察を行います。

- (混合クリーム塗布後30分および48時間後の2回)
- ★ 塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等の皮膚の異常があった場合には、手などでこすらずに直ちに洗い落とし、染毛しないでください。
 - ★ 途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、混合クリームを洗い落として染毛しないでください。
 - ★ パッチテストの結果、異常があった場合には、商品に関するお問合せ先までご相談ください。

5. 48時間経過後、異常がなければ染毛してください。

※ パッチテストをした部分は、テスト後や入浴時によく洗ってください。

3 使用前の準備

使用前の髪のお手入れ

- ★ シャンプーは、使用の前日までに済ませておきましょう。髪がとくに汚れている場合や、整髪料を多めに付けている時、一時着色料(カラーフォーム・ジェルなど)や金属粉などが髪についている時は、地肌を傷つけないように注意して十分に洗い流してください。
- ★ やむなく当日シャンプーする場合は、ご使用前に、髪を乾かしておいてください。髪がぬれていると、薬剤がたれたり、効果が弱くなる場合があります。
- ★ ヘアカラーの後にパーマをかけるると色落ちすることがあります。パーマをかける方は、本品ご使用の1週間前までに済ませてください。
- ★ 髪が長い方や、パーマをかけている方は、髪のからまりや引っ掛かりを抑えるため、染毛前に髪をとかしておくことをおすすめします。

準備するもの



染める前の身じたく

- 汚れてもさしつかえない前開きの衣服に着替え、首にタオルを巻いた上で、ケープまたは大きめのタオルをかけてください。
- 混合クリームが皮膚についても落としやすいように、水をはじくクリームを耳や額、えり足などの髪の生え際にうすくつけてください。水をはじくクリームが髪につくと染毛効果が弱くなりますので注意してください。
- ★ 皮膚に混合クリームがついた時は、水でしめらせたコットンまたはティッシュペーパーなどですぐふき取ってください。



注意! 寒いと染まりにくいので、暖かい場所(20℃以上)でお使いください。

- 大切なご用など、お出かけ直前の使用はさけてください。万一皮膚に色がついてしまった場合を考えると、2~3日前までに染毛されることをおすすめします。
- メガネ、コンタクトレンズ、イヤリング、ピアス、ネックレス、指輪などは、はずしてください。
- 混合クリームが衣服、床、じゅうたん、壁などに付着すると落ちませんので、床などが汚れないように、あらかじめ新聞紙などを敷いてください。
- 入浴中の使用はさけてください。
- 金属製のクシやヘアピンなどは使わないでください。

※ 暗めの色に染めてある髪は、一度でその髪色より明るく染め変えることは困難です。
※ 違う番号、色名の商品と混合しないでください。違う2つの色を混ぜても、その間の色にはなりません。

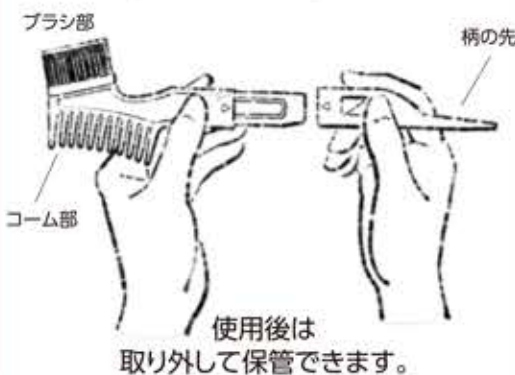
使用手順 1箱全量はショートヘア1回分です。

★染める前に毎回必ず裏面の要領で皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
★必ず裏面の〔使用前の準備〕をよくお読みになってからお使いください。

1 使用する直前に混合クリームをつくります。

●混合クリームと仕上がりの色は異なります。濃い紫色や濃い茶色などに変わっても、仕上がりに影響しません。

コームブラシは矢印(▶)を合わせてしっかりとさし込んでください。



使用後は取り外して保管できます。

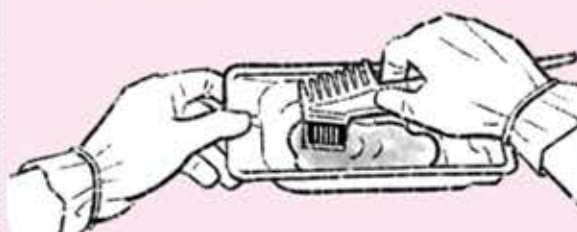
① 1剤と2剤を同量ずつトレーに出します。



② 手袋をします。手袋がずれないように輪ゴムでとめてください。



③ コームブラシのブラシ部で十分に混ぜてください。



●混合クリームをついたら、ただちに染毛を始めてください。混合後、60分以上たつと染毛効果がなくなります。
●1剤は最後にクリームが黒色～茶色になって出ることがありますが、染毛効果には影響ありません。また、2回目からのご使用の際、1剤の先端が黒くなっていることがありますが、いずれの場合も染毛効果には影響ありません。

使用後は1剤キャップと2剤キャップをまちがえることなく、きちんと閉めて保管してください。



2 乾いた髪に、混合クリームをつけます。

●白髪の多い部分は、混合クリームを多めにつけてください。●混合クリームが耳や生え際についた時は、すぐに水でしめらせたティッシュペーパーなどでふき取ってください。●クシを使う時は、地肌を傷つけないようご注意ください。

髪全体を染めたい方

髪全体にムラなく、20分以内につけます

約15分程おきます

① 髪の前半分にブラシ部でつけます。



●生え際や根元等、白髪の目立つ部分からつけていきます。
●白髪の多い部分は染まりにくいので、たっぷりぬります。

①コームブラシの柄の先で髪を分け、混合クリームをブラシ部にとり、髪の根元につけていきます。

②さらに、中間→毛先の順序で混合クリームをつけていきます。
③次の部分の髪を分けとり(2cm幅位)、①→②をくり返します。

② 髪の後半分にブラシ部でつけます。



頭頂部からえり足に向かって髪を分けながら、根元につけます。

③ 髪全体にクシ部でなじませます。



●髪についた混合クリームをクシでしごきとらないようご注意ください。地肌や髪を傷めないようご注意ください。

④ 白髪の気になる部分にもう一度つけます。



生え際、分け目、つむじ、えり足にしっかりとついているか確認します。

⑤ 15分放置します。



*白髪が多い方、髪が硬い方、髪が太い方、染まりにくい方は、5~10分程度長めに放置することをおすすめします。
*実際の染め上がりの色や白髪の目立ちにくさは、もとの髪色や髪質、白髪の量により異なります。

新しく伸びた部分を染めたい方(リタッチ)

※2回目からも毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

20分以内につけます

約10分程おきます

髪全体になじませて、約5分程おきます

① 新しく生えてきた髪の根元にブラシ部で混合クリームをたっぷりつけます。

すでにカラーリングした部分からつけると暗くなる場合があります。はじめに根元だけつけるのがポイントです。



② 10分放置します。

*白髪が多い方、髪が硬い方、髪が太い方、染まりにくい方は、5~10分程度長めに放置することをおすすめします。



③ 髪全体にクシ部でなじませて、5分放置します。

髪全体の色調を合わせるために、根元につけた混合クリームをコームブラシのクシ部でやさしく毛先に向かって伸ばします。



白髪の集中する部分だけ染めたい方

① 白髪の集中している部分にブラシ部で混合クリームをたっぷりつけます。

② クシ部でよくなじませます。

③ 15分放置します。

注意! 混合クリームは、60分以上たつと染毛効果がなくなります。残った混合クリームは、必ず洗い流して捨ててください。

3 混合クリームを洗い流し、シャンプー・トリートメントをします。

① 手袋をしたまま、ヘアカラーの色が出なくなるまでぬるま湯で十分にすすぎます。

② シャンプーをいつもより濃いめに2回してください。その後、リンスやトリートメントで仕上げ、よく乾かします。



●すすぎ液が目に入らないようご注意ください。
●髪の傷みが気になる方には、トリートメントの使用をおすすめします。
※色移りすることがありますので、汚れてもさしつかえないタオルでふいてください。

★次の状態では、衣類、帽子、枕カバーなどに色移りすることがありますのでご注意ください。
・髪がぬれているとき(汗をたくさんかいたとき、雨にぬれたとき、水泳、洗髪後、頭髪用品の使用後など)。
・育毛剤、ヘアリキッド、ヘアフォームなどの頭髪用品を多量に使用したとき。

次回からの染毛の為に

●チューブに残っているクリームは次回そのまま使えます。キャップをしっかり閉めて保管してください。
●暗めに染まった髪色を1回で明るく染め変えることは困難です。次回の染毛から1段階明るめの色を使用し、徐々に明るくしていきます。
●髪の傷みを防ぐため、1ヶ月に1回程度のご使用をおすすめします。
●リタッチや部分染めを繰り返すと色ムラが出る場合がありますので、3ヶ月に1度は髪全体を染めることをおすすめします。